

■科目基本情報

| | | | | | | | |
|-------------|-----------------------|-----|----|-------|------|-------|----|
| 科目名 | プレゼンテーション | | | 科目コード | J321 | 科目区分 | 専門 |
| 学科・コース | 情報システム工学科 メディアデザインコース | | | 学 年 | 2年 | 学 期 | 通年 |
| 方 式 | 講義 | 必 選 | 必修 | 単 位 | 1 | 総 時 数 | 30 |
| 実務経験のある教員科目 | □対象・☑対象外 | | | | | | |

■授業詳細情報

| 授業概要 | プレゼンテーション技法では、プレゼンテーションの意義や位置づけ、活用場面やその効果等を講義する。また、ワークショップ演習を通して、状況に応じた対応力を養うため実践的なロールプレイングを行う。 | |
|-----------------|---|---------|
| 達成目標 | 多様性の時代となり、様々な価値観の人々と仕事をする、交渉する場面に、周囲とうまくコミュニケーションとりながら自分の意見を述べ、状況判断能力を有し、社会人として貢献できる人材を目指す。 | |
| 使用教材 | 教科書： 副教材： 演習プリント 参考書： | |
| 授業外学習 | | |
| 授業計画 | | |
| 項目 | 内容 | 時数 |
| 【プレゼンテーション】 | | |
| I プレゼンテーションとは | プレゼンテーションの意義、位置づけ、活用場面やその効果について | 1 |
| II 話すときの心構え | プレゼンテーション実習「私のアピールしたいこと」 自分の話し方をチェックする、現状のコミュニケーション能力を確認する | 2 2 |
| III 話す前の準備 | 目的とねらいを明確にする（人間関係をつくる、情報を伝達する、協力を獲得する） ふさわしい話題を考える | 2 2 |
| IV 効果的な話し方 | 効果的に話す、わかりやすく、聞き取りやすいリズムとスピード | 2 |
| V 効果的な表現力を身に着ける | 効果的な話の構成、構成技術（5W2H,ナンバリング、主一話一主、AIDMA） 態度面が話の効果を決める（目から、耳から、第一印象の大切さ、あがり対策） | 1 1 |
| VI 総合演習 ワークショップ | 目線・アイコンタクトの大切さ、表現力を高めるジェスチャー チームコミュニケーションの体験による習得、理解 グループでの討論、共同活動体験 | 10 5 |
| 評価方法 | ①期末試験：60%、②出席率：20% ③課題提出：20% ①~③の合計得点を評価（優、良、可、不可）に置き換える | |
| 関連科目 | | |
| 備 考 | 本授業において習得した知識、経験は、社会人の準備期間の学年に不可欠である。自己理解、他者との関わりの持ち方、社会人となる基盤づくりに役立ててほしい。 | |